

横浜市感染症発生動向調査報告（令和5年10月）

《今月のトピックス》

- インフルエンザは流行注意報が発令されています。手洗いや咳エチケットなどの感染対策を心がけましょう。
- 梅毒が20歳代～50歳代を中心として多く発生している他、性器クラミジア感染症などの性感染症も増加しており、注意が必要です。
- 咽頭結膜熱の報告数が増加しています。

◇ 全数把握の対象

＜10月期に報告された全数把握疾患＞

腸管出血性大腸菌感染症	14件	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2件
E型肝炎	1件	後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む)	4件
デング熱	1件	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1件
マラリア	1件	侵襲性肺炎球菌感染症	5件
レジオネラ症	3件	水痘(入院例に限る)	1件
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	4件	梅毒	25件
急性脳炎	1件		

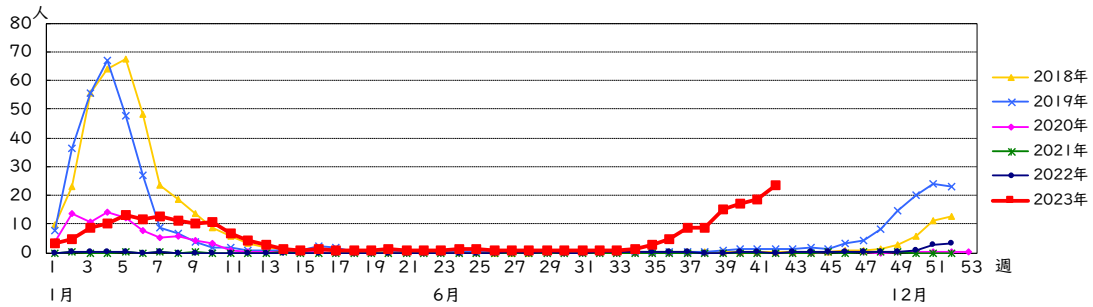
- 1 **腸管出血性大腸菌感染症**:10歳未満～50歳代で、血清群O157が8件、O26が2件、Og110が1件、O142が1件、O血清不明が2件です。経口感染と推定される報告が4件、接触感染と推定される報告が2件、感染経路等不明の報告が8件ありました。
- 2 **E型肝炎**:60歳代で、感染経路等不明です。
- 3 **デング熱**:60歳代で、海外での蚊からの感染と推定されています。
- 4 **マラリア(熱帯熱)**:30歳代で、海外での動物・蚊・昆虫等からの感染と推定されています。
- 5 **レジオネラ症**:70歳代～90歳代で、いずれも感染経路等不明です。
- 6 **カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症**:50歳代～80歳代で、いずれも感染経路等不明です。
- 7 **急性脳炎**:10歳未満で、感染経路等不明です。
- 8 **劇症型溶血性レンサ球菌感染症**:60歳代および70歳代で、いずれも血清群はA群で、感染経路は創傷感染と推定されています。
- 9 **後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む)**:20歳代～40歳代で、性的接触(同性間)での感染と推定される報告が3件、輸血・血液製剤(海外)と推定される報告が1件です。
- 10 **侵襲性インフルエンザ菌感染症**:90歳代(ワクチン接種歴無不明)で、感染経路等不明です。
- 11 **侵襲性肺炎球菌感染症**:10歳未満～80歳代(ワクチン接種歴3回1件、1回1件、無1件、不明2件)で、接触感染と推定される報告が1件、感染経路等不明の報告が4件ありました。
- 12 **水痘(入院例に限る)**:50歳代(ワクチン接種歴無)で、飛沫・飛沫核感染と推定されています。
- 13 **梅毒**:10歳代～90歳代で、早期顕症梅毒Ⅰ期6件、早期顕症梅毒Ⅱ期8件、無症状病原体保有者11件です。性的接触による感染と推定される報告が21件(異性間20件、同性間1件)、感染経路等不明の報告が4件ありました。

◇ 定点把握の対象

報告週対応表	
第39週	9月25日～10月1日
第40週	10月2日～10月8日
第41週	10月9日～10月15日
第42週	10月16日～10月22日

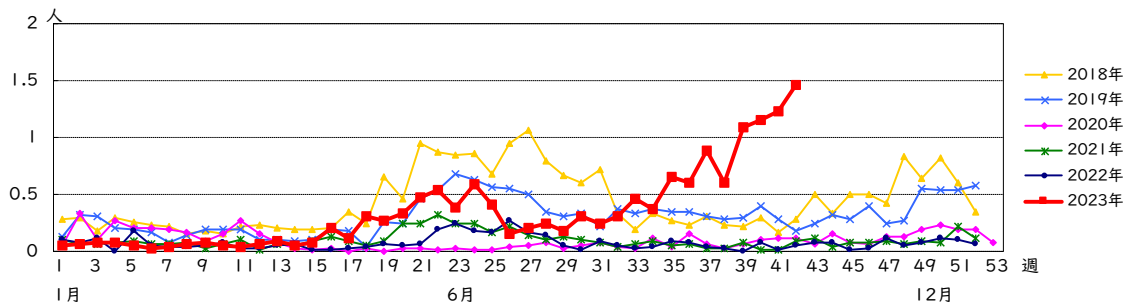
1 インフルエンザ:

第34週以降増加が続き、第39週14.86で流行注意報発令基準値(定点あたり10.00)を上回りました。第42週は23.63です。
詳細は、横浜市インフルエンザ流行情報7号をご参照ください。



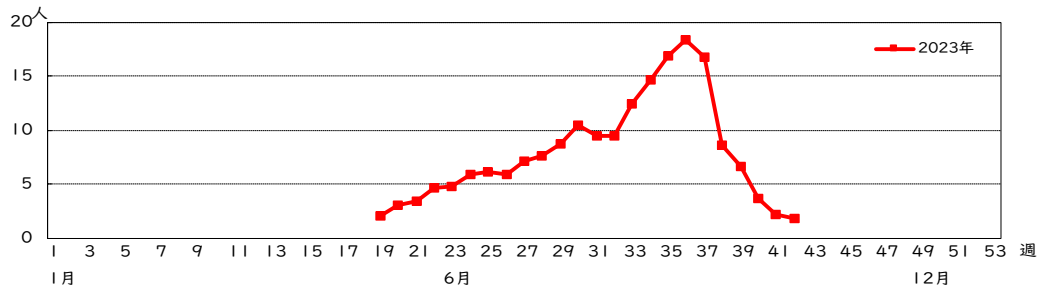
2 咽頭結膜熱:

第30週以降増加傾向が続き、第39週1.08、第40週1.14、第41週1.23、第42週1.46と推移しています。



3 新型コロナウイルス感染症:

2023年第19週より定点報告となりました。第36週18.38をピークに、第42週は1.81に減少しています。



4 性感染症(9月)

性器クラミジア感染症	男性:47件	女性:19件	性器ヘルペスウイルス感染症	男性:7件	女性:16件
尖圭コンジローマ	男性:9件	女性:7件	淋菌感染症	男性:16件	女性:4件

5 基幹定点週報

	第39週	第40週	第41週	第42週
細菌性髄膜炎	0.00	0.25	0.00	0.25
無菌性髄膜炎	0.00	0.25	0.50	0.00
マイコプラズマ肺炎	0.00	0.00	0.00	0.25
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	0.00	0.00	0.00	0.00

6 基幹定点月報(9月)

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	16件	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0件
薬剤耐性緑膿菌感染症	0件	-	-

◇ 病原体定点からの情報

市内の病原体定点は、小児科定点:8か所、インフルエンザ(内科)定点:4か所、眼科定点:1か所、基幹(病院)定点:4か所の計17か所を設定しています。

検体採取は、小児科定点とインフルエンザ定点では定期的に行っており、小児科定点は8か所を2グループに分けて毎週1グループで実施しています。

眼科と基幹定点では、検体採取は対象疾患の患者から検体を採取できたときにのみ行っています。

〈ウイルス検査〉

10月期(2023年第39週～第42週)に病原体定点から搬入された検体は、小児科定点28件、内科定点4件、基幹定点3件、定点外医療機関からは1件でした。

11月1日現在、表に示した各種ウイルスの分離18株と遺伝子14件が同定されています。

表 感染症発生動向調査におけるウイルス検査結果 (2023年第39週～第42週)

主な臨床症状等 分離・検出ウイルス	上 気 道 炎	イン フル エン ザ	手 足 口 病	感 冒
インフルエンザウイルス AH3型		7 4		
インフルエンザウイルス B型Victoria		- 1		
アデノウイルス 3型	7 1			
アデノウイルス 54型	1 -			
アデノウイルス 型未同定	- 1		- 1	
パラインフルエンザウイルス 2型	2 -			
コクサッキーウイルス A2型	- 1			
コクサッキーウイルス A16型			1 -	
ヒトコロナウイルス OC43	- 1			
ヒトコロナウイルス 229E		- 1		
ライノウイルス	- 1			- 1
パレコウイルス 6型	- 1			
合 計	10 6	7 6	1 1	- 1

上段:ウイルス分離数 下段:遺伝子検出数

【 微生物検査研究課 ウイルス担当 】

〈細菌検査〉

10月期(2023年第39週～第42週)の「菌株同定」の検査依頼は、基幹定点から腸管出血性大腸菌1件、カルバペネム耐性腸内細菌目細菌2件、劇症型溶血性レンサ球菌1件、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌1件、BCG鑑別1件、レジオネラ属菌1件でした。非定点からの依頼はありませんでした。保健所からの依頼は、腸管出血性大腸菌14件、カルバペネム耐性腸内細菌目細菌2件、侵襲性インフルエンザ菌2件、侵襲性肺炎球菌1件、劇症型溶血性レンサ球菌1件でした。

「分離同定」の検査依頼は、基幹定点から細菌遺伝子検索1件、保健所からレジオネラ属菌1件でした。

「小児サーベイランス」の検査依頼は、咽頭炎、咽頭痛、咳2件でした。

また、その他の依頼として、民間検査機関からジフテリア菌毒素遺伝子の検査依頼が1件ありました。

表 感染症発生動向調査における病原体調査(2023年第39週～第42週)

菌株同定		項目	検体数	血清型等	
医療機関	基幹定点	腸管出血性大腸菌	1	O157:H7 VT1 VT2 (1)	
		カルバペネム耐性腸内細菌目細菌	2	<i>Klebsiella pneumoniae</i> (1)、 <i>Klebsiella aerogenes</i> (1)	
		劇症型溶血性レンサ球菌	1	A群溶血性レンサ球菌 (1)	
		メチシリン耐性黄色ブドウ球菌	1	<i>Staphylococcus aureus</i> enterotoxin A産生 (1)	
		BCG鑑別	1	<i>Mycobacterium bovis</i> BCG (1)	
		レジオネラ属菌	1	<i>Legionella pneumophila</i> SG1 (1)	
保健所		腸管出血性大腸菌	14	O157:H7 VT1 VT2 (4)、O157:H7 VT2 (3)、O157:H- VT1 VT2 (1)、Og76:H19 VT1 (1)、Og76:H7 VT1 (1)、Og100:Hg20 VT2 (1)、Og105:Hg7 VT2 (1)、Og110:Hg28 VT1 (1)、O142:Hg38 VT1 (1)	
		カルバペネム耐性腸内細菌目細菌	2	<i>Klebsiella pneumoniae</i> (1)、 <i>Enterobacter cloacae</i> complex (1)	
		侵襲性インフルエンザ菌	2	<i>Haemophilus influenzae</i> (2)	
		侵襲性肺炎球菌	1	<i>Streptococcus pneumoniae</i> (1)	
		劇症型溶血性レンサ球菌	1	A群溶血性レンサ球菌 (1)	
分離同定	材料	項目	検体数	同定、血清型等	
医療機関	基幹定点	穿刺液	細菌遺伝子検索	1	<i>Streptococcus angiosus</i> groupの遺伝子検出 (1)
保健所		喀痰	レジオネラ属菌	1	培養陰性 (1)
小児サーベイランス	材料	臨床症状	検体数	同定、血清型等	
小児科定点	咽頭ぬぐい液	咽頭炎、咽頭痛、咳	2	培養陰性 (2)	
その他依頼	菌株	検査項目	検体数	同定、血清型等	
民間検査機関	ジフテリア菌	毒素遺伝子	1	毒素遺伝子 陰性 (1)	

【 微生物検査研究課 細菌担当 】